

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

ミッション

時間を奪うのではなく、時間を与えるソフトウェアを創り続ける

売上高
120億円営業利益
20億円営業利益率
16.6%粗利率
35.0%

② 中長期の経営戦略

1. 収益基盤改善

粗利率、販売費比率、管理費比率など各指標を常に1%以上プラスの方向に改善。2026年度までに粗利率を32.5%から35.0%へ引き上げる

3. AIファースト戦略

最新AI技術を日々の業務に取り入れ、各事業にAI活用した新規事業を展開。業務系システムや開発ツール領域でAI取り込んだ先進的ビジネス創出

2. 事業ドメイン集中

業務系システム×AI×開発ツールの3領域に経営資源を集中させ、B toBエンタープライズ向けソリューション提供に注力

4. 既存事業の進化

GRANDIT、OBPM、Object Browserの3事業を進化させ、次の10年を戦うための高次元ビジネスモデルを生み出す

③ 対処すべき課題

① 安定的な収益基盤構築

- ・ ERP事業での保守・運用収益とリピート収入増加
- ・ OBPM事業拡大によるストック型ビジネス比率向上

② 営業企画力向上

- ・ プロダクト志向からの脱却、顧客中心アプローチ強化
- ・ 顧客管理ツール活用した効果的営業戦略立案

③ 開発生産性向上と人材確保

- ・ AI含むテクノロジー活用による作業自動化・標準化推進
- ・ 継続的教育と若手社員の早期戦力化
- ・ 企業ブランド強化とエンジニア採用競争への対応

面で使えるポイント

- ・ 2032年に売上高120億円、営業利益20億円を目指す成長戦略において、業務系システム×AI×開発ツール領域に注力
- ・ ものづくり企業のビジネスプロセスをITの力で本質的に変革する長期ビジョン実現に向けた中期計画を推進中
- ・ ITエンジニア採用が激しい競争状況の中で、人材育成とオンボーディング、働きやすい職場環境整備を成功要因として重視

証券コード 3826

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
56億円営業利益率
10.7%財務健康度
78点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 50.5（当サイト算出の参考指標）

平均年収
672万円

情報・通信業内 258位/592社

平均年齢
35.3歳

情報・通信業内 451位/593社

平均勤続
6.4年

情報・通信業内 293位/593社

女性管理職
10.7%

情報・通信業内 249位/373社

男性育休
100.0%

情報・通信業内 42位/297社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: システムインテグレータ[3826]：独立役員届出書 2026

